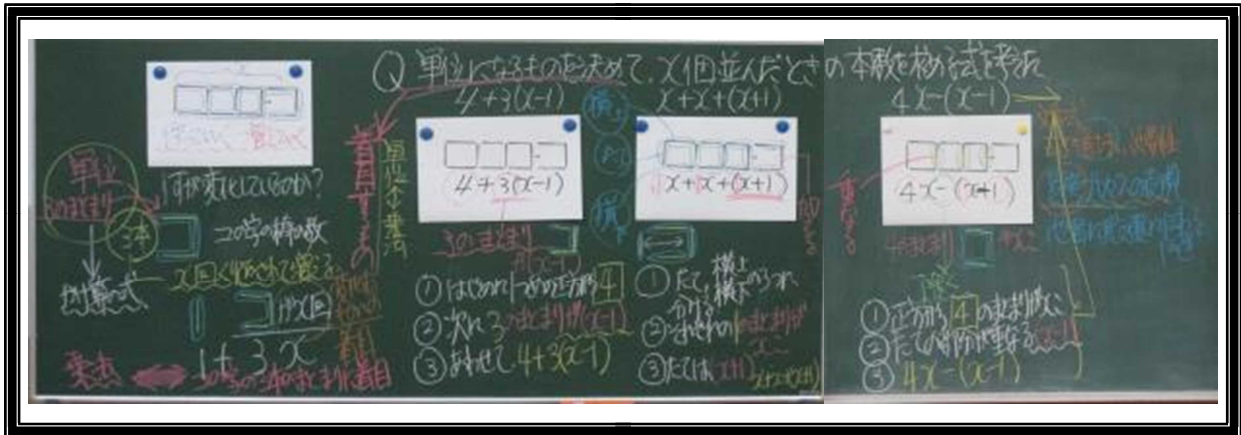


【学力向上総括専門官による指導板書】



【小学校との接続を大事にしましょう】
 小学校からの系統性を学習指導要領で理解し、生徒のつまずきがどこであるかを把握し、小中の先生が一緒になって課題を克服できるように授業改善を進めていきましょう。



【どのようなスタンスで学習対象と出会わせていくか】

- (1) 説明するための準備を整える
 - ・正方形が増えると、何が変化しているのか着目すべきことをはっきりさせる。
 - ・単位のまとまりが増えていくということは、かけ算の式であることをおさえる。
 - ・全体で式の構造を丁寧に確認する場面をつくる。
- (2) 説明を箇条書きで練習する場をつくる
 - ・中1の段階では、これからの学習に向けて数学的な表現ができるようにするためにも、①～③のようにモデルを示し、自分の考えを表現させる。
- (3) 着目すべきことは、言葉で言うだけでなく視覚化させる
 - ・着目すべきものである「単位なるものを決めて乗法の式を作ること」を生徒が常に意識できるようにする。



数学で説明を丁寧に書くのは、他者に的確に間違いなく伝えるためです。中学校3年間で、よりの確で簡潔な表現ができるようするために、中1の段階でひな形を作り思考のプロセス考えていくことを丁寧に指導していくことが大切です。

【授業づくり講座（西部管内）のこれからの日程】

- 7月31日(火)午前：大方中学校教材研究会
 ※8月31日の授業改善協議会に向けての教材研になります。
- 7月31日(金)午後：入野小学校教材研究会
- 8月28日(火)午前：清水中学校教材研、午後：清水小学校教材研
- 8月29日(水)午後：中村中学校教材研
- 8月30日(木)午前：片島中学校教材研、具同小学校教材研
- ◎詳しい日程は、各学校へ確認をお願いします。



夏休みの学びを2学期の授業につなげていきましょう。